

ふくしまは負けない明日へ

題字は塩生紋加さん(南会津町・荒海中2年)

3.11に「祈りの創作菓子」

県内7障害者施設 来年発売



講習会には福島、会津若松、白河各市などの7施設から十四人が参加した。オーストリア国家公認マイスターの八木淳司さんが講師を務めた。

参加者は八木さんからアドバイスを受けながら、祈りの形を表現したドイツ発祥の焼き菓子作りに挑戦した。今後、来年3月の発売に向け、各施設は商品の製造・販売体制を整える。

八木さん(左)から「祈りのプレッセル」作りを学ぶ参加者

神戸市を拠点にする社会福祉法人「プロジェクト・ステーション」と製粉業界大手の日清製粉による菓子作りを通して、障害者の就労を支援するプロジェクトの一環。一流パティシエが菓子職人を目指す人たちに技術を指導し、菓子作りのレベルアップを図る。

パティシエから技術学ぶ

震災と東京電力福島第一原発事故から丸五年となる来年3月十一日に、県産エゴマを使った創作菓子「祈りのプレッセル」を発売する。二十四日、福島市で菓子作りを学ぶプロジェクト「神戸スウィーツ・コンソーシアム」が開かれた。